

資金不足比率計算書

(算式)

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

(説明)

(単位：千円)

下水道事業会計		H30年度 ①	R1年度 ②	増減 (②-①)
資金の不足額	流動負債の額 a	340,139	272,600	-67,539
	流動資産の額 b	577,639	494,983	-82,656
	差 引 (b-a)	237,500	222,383	-15,117
事業の規模	営業収益の額 c	1,177,674	1,233,975	56,301
	受託工事収益の額 d	0	0	0
	差 引 (c-d)	1,177,674	1,233,975	56,301
資金不足比率 (%)		-20.2	-18.0	2.2
経営健全化基準 (%)		20.0	20.0	

備考

- 1 資金に剰余金が発生している場合は、「資金の不足額」の「差引き」欄は負の値となります。
(「増減」の欄を除く)
- 2 事業の規模は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第17条第1号の規定に基づき算定しています。